



2018年5月11日

各 位

会社名 株式会社 ワコム  
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 井出 信孝  
(コード番号:6727 東証第一部)  
問合せ先 CFO 町田 洋一  
(TEL 03-5337- 6502)

## ワコムグループ中期経営計画『Wacom Chapter 2』策定 ～お客さまに寄り添ったデジタルインクの体験をお届けするために～

当社は、この度、2022年3月期を最終年度とする新たな中期経営計画「Wacom Chapter 2」を策定しました。ペンとインクのデジタル技術を最大限に活かす「テクノロジー・リーダーシップ・カンパニー」としての当社の位置づけを明確にし、限られた経営資源を戦略的に有効活用して、利益重視の経営体質に転換します。これをより確かなものとするべく取締役会によるガバナンスを強化し、リスクに果敢に挑戦できる財務体質を実現してまいります。これらの施策を通じて、当社の従来からのビジョンである「for a creative world」に加えて、お客様が生涯を通じてデジタルインクの創造する価値を体験できる「Life-long Ink」を掲げ、最高のデジタルインク体験をお届けすべく、大いなる挑戦をしてまいります。

### 1. 基本戦略

#### ① テクノロジー・リーダーシップの推進

ペンとインクのデジタル技術の領域において主導権を取り続けていくために、CTO オフィスを新たに設置し、中長期的な技術ロードマップを明確にしてイノベーションを加速していきます。また、そのために必要な人的、資金的な経営資源の投入を強化するとともに、品質向上に向けた取り組みも強化してまいります。

#### ② アイランド&オーシャンによる緊密な連携

当社の2大事業領域であるブランド事業とテクノロジー事業について、前者を「島」に見立てて、創造性発揮のための最高体験をお客様に提供するために技術を深耕していく事業、後者を「海」に見立てて、当社技術のデファクト・スタンダード(事実上の標準化)確立を通じてペンとインクのデジタル技術を広く普及させる事業と位置付けます。技術開発領域をはじめ両事業間のあらゆる機能において連携を加速させ、経営資源を効率的に活用し、新たな知見を生み出しやすくすることによってイノベーションの加速に繋げていきます。また、2022年3月期連結売上高の1割程度を目安に新たな事業領域を開拓し、持続的な成長を達成する基盤づくりを並行して進めていきます。

#### ③ エクストリーム・フォーカスに基づく行動の徹底

テクノロジー・リーダーシップの推進に沿っているかという視点に加えて、お客様との関係を深めていくことにつながるかという二つの視点を基準として、経営資源の投入可否判断を行うことによって、大胆な選択と集中を進めていきます。

## 2. 主要な経営指標の目標

中期経営計画の遂行を通じて、2022年3月期において以下の目標の達成を目指します。

- ①（収益性） 連結営業利益率 10%
- ②（規模） 連結売上高 1,000億円
- ③（資本効率） 連結株主資本利益率 15～20%

各事業の戦略や資本政策等、本中期経営計画の詳細については、別途「Wacom Chapter 2 中期経営計画 2019年3月期(第36期)–2022年3月期(第39期)」(当社IR・投資家情報ウェブサイト「[開示資料およびIR資料等](#)」に掲載の説明資料)をご参照ください。

以上